

令和3年度結核医療関係者研修会

2020年の青森県の結核罹患率は9.7であり、全国平均の10.1を下回っていますが、東北地方の中では最も高い状況となっています。

全国的な傾向としては高齢の患者が多く、青森県でも70歳以上の患者が約7割を占めています。また、近年は若年者を中心に外国出生の患者が増加しています。

結核の低まん延化に向け、様々な取り組みが行われていますが、今後の結核対策において、高齢者及び外国出生者への対応が重要とされています。

そこで、今回の研修会では、公益財団法人結核予防会 結核研究所 対策支援部 企画・医学科長 平尾 晋 先生に「外国出生者の結核の現状と課題、早期発見のための対策について」と題し、青森県の結核の現状等についても幅広く御講演いただきます。

◎開催日時 令和3年11月13日（土）14時30分～17時

◎開催方式 オンライン（Zoomによる）

◎参加費 無料

◎申込方法 参加申込フォームによる

（右記のQRコードまたは、下記県庁ホームページにアクセスのうえ、お申込ください。）



こちらのQRコードからもお申込みいただけます。

青森県庁 結核医療関係者研修会 🔍検索

県庁ホームページURL

https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/kenko/hoken/tuberculosis_kensyuu.html

◎申込期限 令和3年11月2日（火）

◎プログラム

14:30 開会挨拶

独立行政法人国立病院機構青森病院 院長 高田 博仁

14:35～15:10 情報提供

(1) 「青森県における結核の現状と課題」

青森県健康福祉部保健衛生課

(2) 「結核病棟における外国出生患者の支援の現状と課題」

独立行政法人国立病院機構青森病院 看護部長 浅沼 あけみ

15:10～17:00 講演（質疑含む）

演題 「外国出生者の結核の現状と課題、早期発見のための対策について」

講師 公益財団法人結核予防会結核研究所 対策支援部

企画・医学科長 平尾 晋

座長 独立行政法人国立病院機構青森病院 内科医長 坂本 佳穂

17:00 閉会

～保健・医療・福祉関係者（医師・薬剤師・看護職・各種施設関係者等）、外国出生者に携わる機会のある方等、お気軽にお申し込みください！～

主催：青森県、独立行政法人国立病院機構青森病院

問い合わせ先：青森県健康福祉部保健衛生課 感染症対策グループ

（TEL：017-734-9141 FAX：017-734-8047）

※当日のお問い合わせ（Zoom接続等含む）については、

国立病院機構青森病院（0172-62-4055）までお願いします。